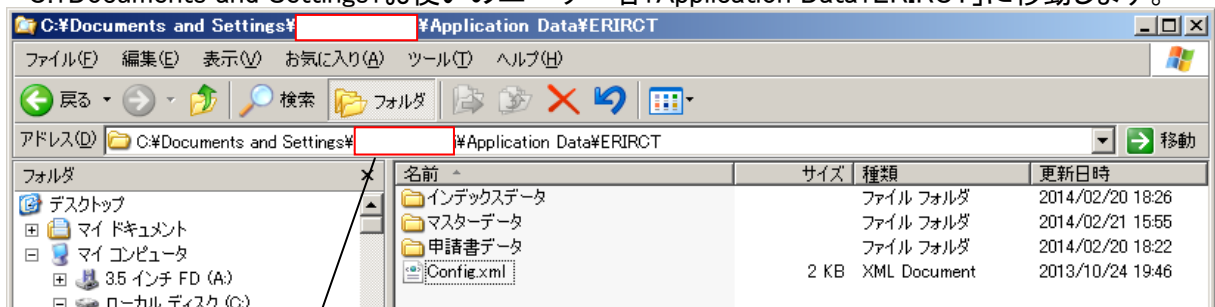


## 建築確認申請書作成ツール データ移行手順

### <WindowsXPの保存手順>

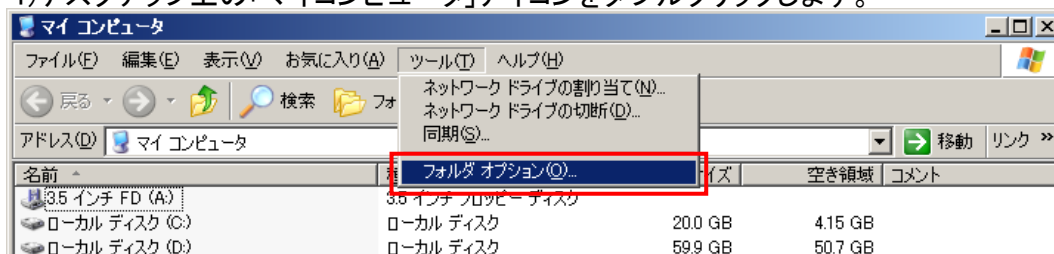
- ① デスクトップの「マイコンピュータ」を開きます。  
※この時点では建築確認申請書作成ツールを起動しないで下さい。
- ② 「C:\Documents and Settings\%お使いのユーザー名%\Application Data\ERIRCT」に移動します。



お使いのユーザー名

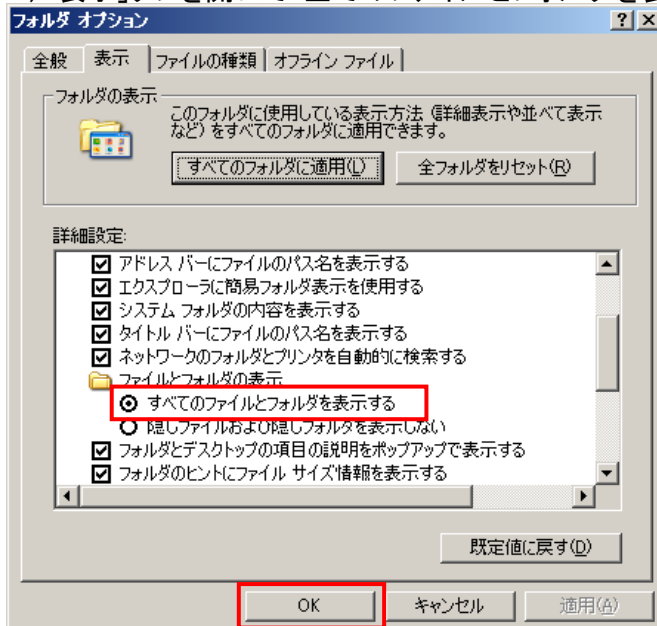
※ お使いのPCで「Application Data」というフォルダが見つからない場合

1)デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。



「ツール」→「フォルダオプション」を開きます。

2)「表示」タブを開いて「全てのファイルとフォルダを表示する」を選択して「OK」ボタンをクリック



3)「Application Data」というフォルダが表示されるようになったことを確認します。

- ③ 配下の「インデックスデータ」「マスターデータ」「申請書データ」の各フォルダをUSB等に保存します。  
インデックスデータ: 物件検索画面等に表示される物件情報  
マスターデータ: 登録されたマスタ情報  
申請書データ: 実際の申請書ファイル  
※Config.XMLを保存して新しいPCに移行する必要はありません。

## 建築確認申請書作成ツール データ移行手順

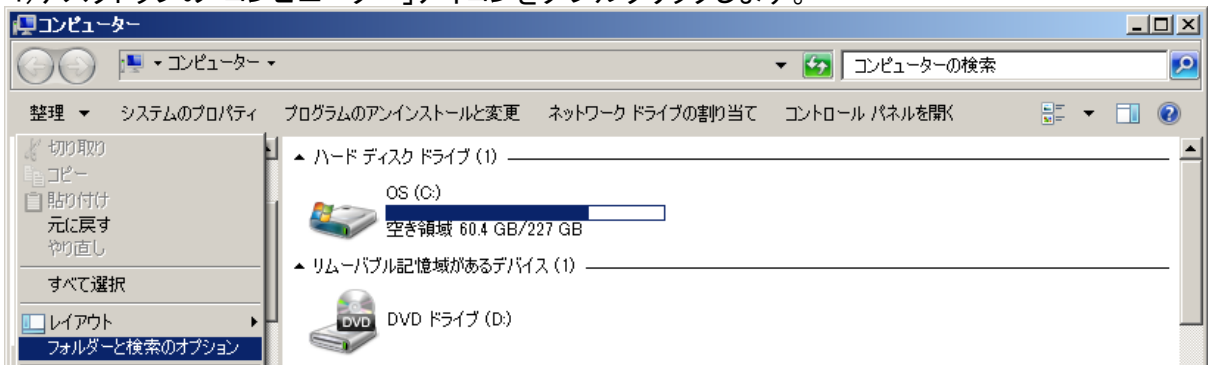
### <Windows7への移行手順>

- ① 新しいPCに「建築確認申請書作成ツール」をインストールします。  
**※この時点では建築確認申請書作成ツールを起動しないで下さい。**
- ② デスクトップの「コンピュータ」を開きます。
- ③ 「C:\¥Users¥お使いのユーザー名¥AppData¥Roaming¥ERIRCT」に移動します。



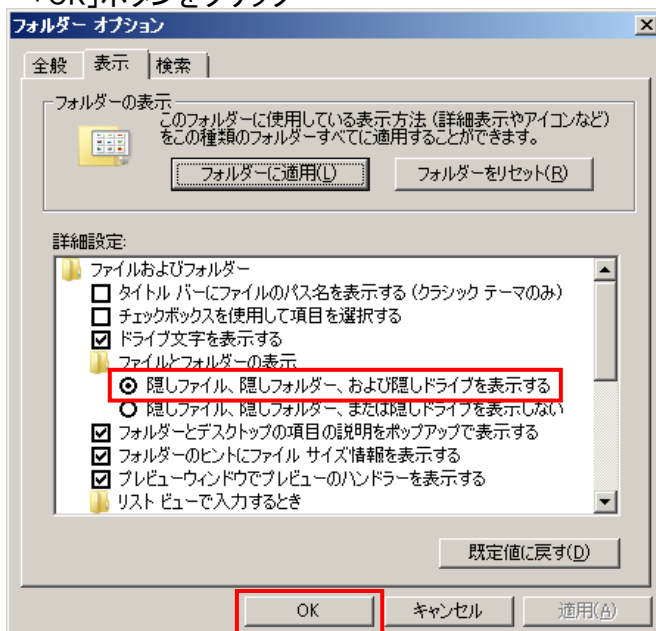
※ お使いのPCで「AppData」というフォルダが見つからない場合

- 1) デスクトップの「コンピュータ」アイコンをダブルクリックします。



「整理」→「フォルダーと検索のオプション」を開きます。

- 2) 「表示」タブを開いて「隠しファイル、隠しフォルダーおよび隠しドライブを表示する」を選択して「OK」ボタンをクリック



- ④ USB等に保存した3フォルダを、そのまま上書き保存します。**※Config.XMLは上書き不要です。**
- ⑤ 建築確認申請書作成ツールを起動し、物件が表示されることを確認します。